

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2024年9月6日）

■第1版 第1刷（2022年10月10日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第2章 救急診療各論① 直ちに診療を開始すべき症候 1. 呼吸困難・呼吸不全					
45頁	頁の上にある表のタイトル	表4 NPPV 導入基準	表3 NPPV 導入基準	本文中の表の引用箇所も変更(44頁、一番下の行)	22/10/07
46頁	頁の上にある表のタイトル	表5 気管挿管適応(MOVES)	表4 気管挿管適応(MOVES)	本文中の表の引用箇所も変更(45頁、本文上から13行目)	22/10/07
46頁	「引用文献」内、1)	1) Dietrich C & Brune A: The complete mitogenomes of six higher termite species reconstructed from metagenomic datasets (Cornitermes sp., Cubitermes ugandensis, Microcerotermes parvus, Nasutitermes corniger, Neocapritermes taracua, and Termes hospes). Mitochondrial DNA A DNA Mapp Seq Anal. 27:3903-3904, 2016(PMID:25471441)	1) This Official Statement of the American Thoracic Society was Adopted by the ATS Board of Directors: Dyspnea, Mechanisms, assessment, and management: a consensus statement. American Thoracic Society. Am J Respir Crit Care Med. 159:321-340, 1999(PMID:9872857)		22/10/07
第2章 救急診療各論① 直ちに診療を開始すべき症候 2. ショック					
50頁	「表1 ショックを示唆する所見」内、上から2行目	CRT \leq 2秒	CRT \geq 2秒		23/01/13
第3章 救急診療各論② 緊急性の高い疾患を有する症候 5. 腰背部痛					
119頁	本文上から2行目	馬尾症候群	馬尾症候群(図2)	図2のタイトル変更に伴い、表の引用箇所を変更	23/01/13
119頁	本文上から3行目	サドル型感覚障害(図2)	サドル型感覚障害(肛門周囲・会陰部の感覚障害)	図2のタイトル変更に伴い、表の引用箇所を変更	23/01/13
120頁	図2のタイトル	図2 サドル型麻痺の障害範囲	図2 馬尾症候群の障害範囲		23/01/13
120頁	図2の出典元	文献11より引用	文献10、11を参考に作成		23/01/13
121頁	「引用・参考文献」内、10)	10) Stratford, C. J.: Back Pain Emergencies. Physician Assist Clin. 2: 357-369, 2017(PMID:322890086)	10) Carv JS: Back Pain Emergencies: Easily Missed Diagnoses. Physician Assist Clin. 2:357-369, 2017		23/01/13
121頁	「引用・参考文献」内に文献追加		11) Rothman-Simeone The Spine I (Harry NH et al). Saunders-Elsevier, 2006	以下、文献番号を繰り下げる。本文中の引用箇所の番号も同様	23/01/13

第3章 救急診療各論② 緊急性の高い疾患を有する症候 7. 女性の腹痛・妊婦の腹痛

133頁	表2 PID 診断基準		表全体を※1に差し替え (下記参照)	ガイドライン改訂に 伴う更新	2024/9/6
134頁	図1 PID 鑑別診断の ためのフローチャート 内の出典表記	文献3より転載.	本図は、ガイドラインの改訂にあ たり文献3からは削除されている.	ガイドライン改訂に 伴う更新	2024/9/6
134頁	本文上から1行目	妊婦や経口抗菌薬が無効であった症 例、経口抗菌薬投与が不可能な症例、 卵管卵巣膿瘍を伴う症例などは入院適 応 ³⁾	①外科的な緊急疾患(虫垂炎な ど)を除外できない症例、②妊 婦、③経口抗菌薬が無効であっ た症例、④経口抗菌薬投与が不 可能な症例、⑤悪心・嘔吐や高熱 を伴う症例、⑥卵管卵巣膿瘍を 伴う症例などは入院適応 ⁴⁾	ガイドライン改訂に 伴う更新	2024/9/6
139頁	引用文献 3)	「産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来 編2020」(日本産科婦人科学会/日本産 婦人科医会 編集・監修), 日本産科婦 人科学会, CQ109, 2020	「産婦人科診療ガイドライン 婦人 科外来編 2023」(日本産科婦人 科学会 / 日本産婦人科医会 編 集・監修), 日本産科婦人科学 会, CQ109, 2023	ガイドライン改訂に 伴う更新	2024/9/6
139頁	引用文献 4)を追加		「産婦人科診療ガイドライン 婦人 科外来編 2023」(日本産科婦人 科学会 / 日本産婦人科医会 編 集・監修), 日本産科婦人科学 会, CQ110, 2023	ガイドライン改訂に 伴う更新	2024/9/6

図表

※1 全体を差し替え

表2 PID 診断基準

問診	必須診断基準	付加診断基準および 特異的診断基準
1. 症状の程度, 性状, 経過 2. 性的活動性, 直近の子宮内操作, 妊娠の可能性 3. 子宮内膜症などの婦人科的基礎 疾患や性感染症の既往歴	1. 下腹痛, 下腹部圧痛 2. 子宮と付属器の圧痛	1. 体温 $\geq 38.0^{\circ}\text{C}$ 2. 白血球増加 3. CRPの上昇 4. 経腔超音波検査やMRIによる膿 瘍像確認 5. 原因微生物の培養もしくは抗原検 査, 遺伝子診断による同定

文献3より転載.